

数字から見た歸國熱

半年で早くも昨年度凌駕

目下在伯同胞識者間の關心の焦點となつてゐるものが二つある。その一つは第世教育問題他の一つが第一世の永住か歸國かの問題でこの兩者は又切り離さない成るものがある様だ。その良否の議論はさて置いてそれ程歸國熱が實際の形となつて現れて居るかといふと現在の調査で今年一月からの歸國者總計は九百三十五人である。これを昨年度一杯の九百十七人に比すると半年にして早くもそれを凌駕する數字となつてゐるが近く出帆するラブラタ丸あるぜんちーな丸等に依る歸國者は相當數に上る見込みであるから本年中には恐らく現在迄の二倍以上になるのではないかと見られてゐる。又その歸國者の多くが内地在住若しくは大陸轉住をめざして居るのも本年依る歸國者の特徴であらう。これは齊しく考へさせられる。又考へねばならぬ所ではなからうか。數字に現はれた一つの重大問題であると思はれる。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

現在までの歸國者九百三十五人

☆☆

舞ひ出る日本娘

糸子さん　舞踊親善

ティアリオ社が日本舞踊を紹介

デインソフシニアード社で

代表的舞踊「長崎歌」

「四季」「御所車」の三つ

八時パロン・デ・タベチニ

ンガ街の「サロン」でマイオの

聖市知名の士を招ひて日本の

西川扇の下に子供のころよ

り手錠を得て西川扇の名

君の清義氏が左の如く語る

合意糸子さんが立派な「舞踊

家」である事を聞き、早速本人

と交渉を開始糸子さんの快諾

を得た。日本舞踊紹介の夕を

街々旅館を登場する佐藤清義氏の

令嬢糸子さんが立派な「舞踊

家」である事を聞き、早速本人

の心のうづきを表現出

来るかどうか判りません

いささかなりとも日本の人間

が得た事に即ち本夕

幸甚に力がります



糸子さんは生花の紹介は日本伯合間に婦人會の提唱機会あるこの目論んでいたが適當な踊りに脚を踏んで歩つてもらひ事となつた。

と日本人と伯人との理解難解に一方ならぬ努力を盡して舞踏を習ふる聖市有数の大新聞である。

舞踏のしやくは豫より日本舞踏のしやくや

は豫より日本舞踏のしやくや

Notícias de S. Paulo
(Primeiro Diário Nipponico Publicado no Brasil)

DARIO P. ALMEIDA
DIR. TOR
ROCKO K. IWAYAMA
PROPRIETARIO

Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5655
R. Conde de S. Joaquim, 80
SÃO PAULO - BRASIL

ASSIGNATURAS
Ano - - - 600000
Semestre - - - 300000
Número do dia - - \$500
Exterior, anno - 1200000

日曜

櫻井 蒸

露立ちて公園の樹もアバーノも羞恥むやうに見ゆる朝

馬鹿な木山の聲にはつとめた

トモの恨を通したのだ

伯國政府許可のビストロの前には如何ともならぬ

「でも君も好きなんだろう

木山のやつ今頃は如何して

お風呂に入れる事がある

友木山と別れた事が日本よりの

彼の心痛をいやが上にも深め

くもいじらしきがあん

な風にして別れはしたが木山

に對して別れの事と日本よりの

彼の心痛をいやが上にも深め

くもいじらしきがあん

な風にして別れはしたが木山